

一般社団法人 日本WPA 第9期（平成30年度）事業活動方針

日本WPAの使命は、①水なし印刷、バタフライロゴの普及、②水なし印刷に関する技術、経営情報の共有化、③会員相互の交流にある。これらの使命を果たすための最重要課題は、日本WPAの基盤の強化である。

1. 基本活動方針

基本活動方針「WISH」に基づく活動を強化する。

2. 個別新規事業活動方針

(1) 理事会の改革

日本WPAの効率的、効果的な活動を実現するため、理事会の内部組織として、専門委員会を設置する。マーケティング委員会、組織活性化委員会を設置する。

(2) 低炭素杯への協賛

低炭素杯は、(一社)地球温暖化防止全国ネットが、事務局を担当し、環境省、文科省が後援し、2010年から開催されている。前回は、1,167団体からの応募があり、ファイナリストの30団体が実際に壇上でプレゼンテーションを実施し、環境大臣賞や文部科学大臣賞などを決定する方式である。この低炭素杯に協賛し、「日本WPAを冠した賞」を、贈呈する。

(3) ホームページのリニューアル

会員向け、印刷業界向けに能動的な情報の発信に重点を置き、また、現在不足している一般向けへの情報発信を強化したサイトに変革する。

(4) 公式 Facebook ページの開設

水なし印刷、バタフライロゴの普及を目的に、特に一般向けに情報発信を強化する。

(5) 日本印刷産業連合会の協賛会員に加入

水なし印刷を広く発信し、交流を広めるため、日印産連の賛助会員に新規に加入する。

(6) IGAS2018 への出展

IGAS2018にて、「完全VOCフリーUV印刷」を訴求する。

完全VOCフリーUVインキを、3Wインキとし、専用ロゴを登録申請する。

(7) エコプロ 2018 への出展

一般来場者や、未来の水なしファンになってくれるであろう子どもたちにも分かりやすい展示を行い、同時に人気のかかるた取り大会も継続する。

3. 継続事業活動方針

(1) カーボンオフセット事業、VOC計測事業、CFP事業

日本WPAが先進的に実施しておりますカーボンオフセット事業、VOC計測事業、CFP事業を、継続事業として実施する。

(2) 印刷機のリノベーション事業

老朽化した印刷機のリノベーションによる「水なし化」は、経営的に多大なメリットが

あり、省資源の社会的課題にも応えるものである。

リノベーション+後付け UV 装置による水なし UV 化は、日本WPAの重点方針として、今後とも積極的に応援、情報発信に努めていく。

(3) SDGs 活動

日本WPAのSDGs宣言に基づいた環境保全、持続的な開発等の行動により社会に貢献していく。国内にとどまらず、海外の関係者とともに、地球規模の環境保全活動を展開する。

(4) 日本 WPA の活性化

日本WPAの活性化のための、工場見学会・セミナー、懇親会等のイベントを充実させ、会員相互交流、相互の情報交換の機会を増加させる。

4. 予算

第9期は、会員数の減少に伴う、前期比30万円程度の収入減を見込んでおり、収入は、16,946,000を計上する。支出については、経常支出の総額は、収入と同額とする。経常外支出として、ホームページのリニューアル費用、IGAS2018出展費用、低炭素杯協賛金で、合計4百万円を計上する。

以上